

急傾斜地崩壊対策事業（一般・大規模）

するぎ さいき きたち
須留木地区 大分県佐伯市大字木立

須留木地区は大分県南部の佐伯市に位置し、保全対象の人家10戸、市道200m、がけ高30m、勾配40°の急傾斜地である。当該箇所周辺では小規模な崩壊や斜面の変状がいたるところで見受けられ、また、平成27年7月13日に震度5強を観測する地震に見舞われるなど土砂災害が発生する危険性が高まっていることから、地域住民より早期着手が熱望されている箇所である。



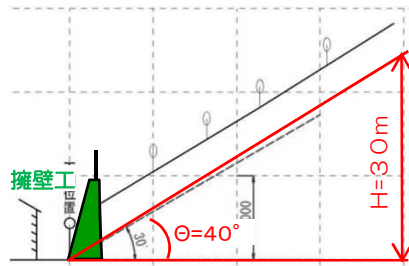
斜面状況



全景



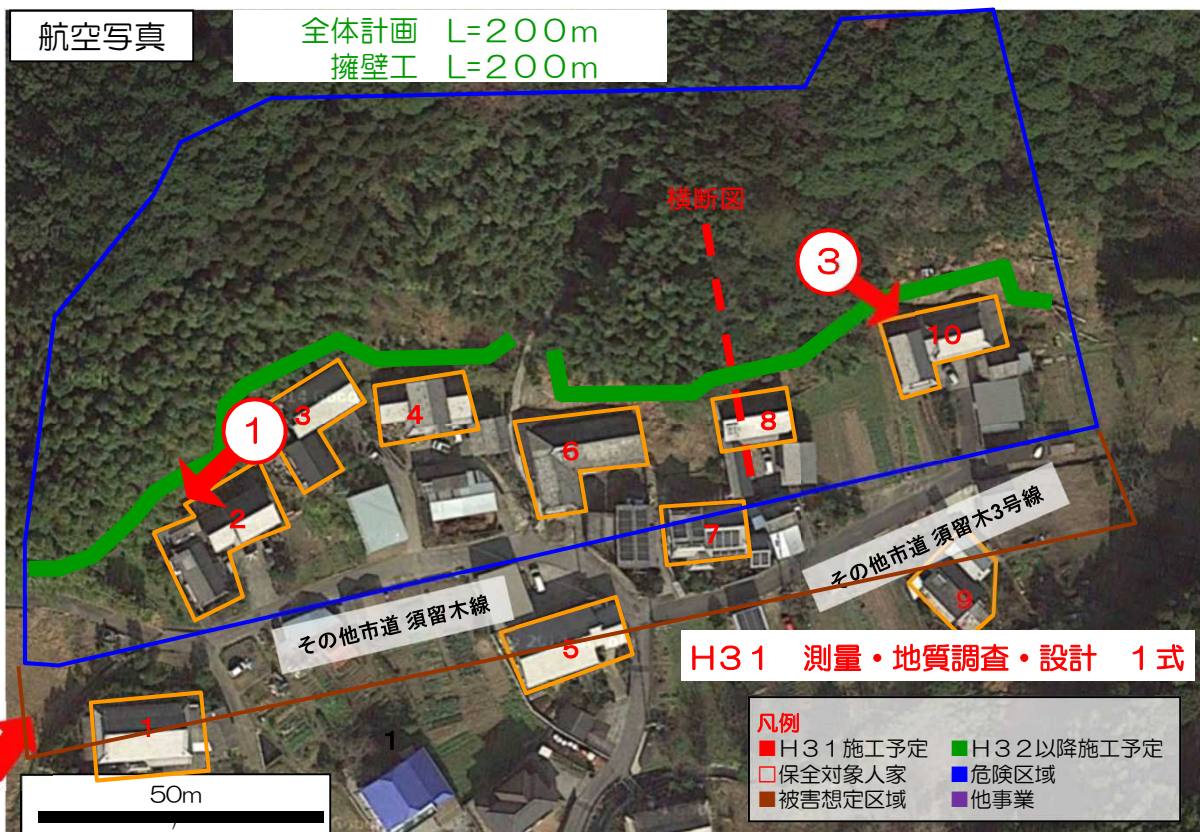
落石による破損



保 全 対 象：人家10戸
 その他市道
 L=200m
 実 施 内 容：擁壁工 L=200m
 事 業 期 間：H31~H36
 全 体 事 業 費：130百万円

航空写真

全体計画 L=200m
 擁壁工 L=200m



H31 測量・地質調査・設計 1式

- 凡例
- H31 施工予定 ■ H32以降施工予定
 - 保全対象人家 ■ 危険区域
 - 被害想定区域 ■ 他事業

